



CONTENTS

教員免許更新講習によせて
インタラクティブスタディQ&A
Super Interactive School「応用コース」をご紹介します！

東原義訓（信州大学教育学部）
日野市ICT活用教育推進室
進学会システム

教員免許更新講習によせて

5月は私の誕生月です。今年はちょうど自動車運転免許証の更新の年で、簡単な講習を受けました。待ち時間に自己診断の質問に回答していったところ、「自信過剰運転をしていることがうかがえます」と判定され、「これはまずい、気をつけよう」と反省させられました。また、これまで努力目標であった後部座席シートベルト着用が6月1日から完全義務化されるとの説明がありました。テレビ等のニュースで報道されていますから初耳ではありませんでしたが、最新の正しい知識を得たり、自分を振り返り課題を自覚するために、更新制度は意味があるなあと改めて実感したところです。

教員免許状についても、平成21年度から更新制が実施されることになりました。制度導入後に授与される免許状は有効期間が10年に制限されます。また、従来の免許証を持っている先生は10年毎に認定された講習を修了しているかの確認が義務付けられることになりました。この更新講習の修了が確認ができない場合には、教壇に立てなくなるわけです。最初の更新講習を受けることになるのは、昭和30、40、50年度（4月1日から翌4月2日）生まれの先生です。

この制度の円滑な導入のため、今年度は試行講習が大学等の主催によって実施されます。多くの試行講習は「予備講習」と文部科学省から認定されているので、最初の該当者にあたる先生が今年度実施される予備講習を受講すると本番の講習が免除されるメリットがあります。現在その受講申込が受け付けられているところです。

新たな制度の導入には様々な困難が伴います。大学は更新講習を実施できるよう準備しなければなりません。免許管理者である都道府県教育委員会の免許係は、更新講習の修了確認とそれに基づくデータベースの管理運用の準備が必要です。

先生方ご自身や学校としての準備は大丈夫でしょうか。「私は講習をいつ受けたらいいですか」とある小学校の校長から大学の窓口に問い合わせがありました。原則、講習を受ける必要のない校長からのこの質問は、いかに教員免許の更新制度が理解されていないかを物語っています。講習は出張扱いか、年休を取っていくべきものか、職務専念義務免除扱いかなのか、明確に指示できない校長や教育委員会が多いのではないのでしょうか。どの先生がいつ更新講習を受けなければならないのか、その先生は更新講習が修了認定されたのかなどを、学校長が把握できる体制になっているのでしょうか。

教員免許も運転免許も、免許は個人の責任で更新するものです。しかし、バス会社、運送会社、タクシー会社等では、運転免許の更新のために、どのような配慮をしているかご存知ですか。もし、それを怠れば、明日の運行に支障を来し、会社が困ってしまうわけですから、本人のみの問題にしておくわけにはいきません。その管理や、講習のために会社や同僚が配慮し合う仕組みはどうしても必要です。

信州大学では、教員免許更新支援センターを設立しました（<http://cert.shinshu-u.ac.jp/kmkk/>）。更新講習の一部では、インタラクティブスタディが活躍します。必修講座の情報セキュリティは、インタラクティブスタディ教材で学んでいただきます。

この機会に、職場で、更新講習を話題として取り上げてみてください。（文責：東原義訓）

インタラクティブスタディ Q&A

日野市ICT活用教育推進室 & ひのっ子教育21開発委員会小学校部会

東京都日野市教育委員会のICT活用教育推進室のWebサイトで、「インタラクティブスタディQ&A」が発信されていることをご存知でしょうか。これは、日野市教育センターのプロジェクトである「ひのっ子教育21開発委員会」の小学校部会が、教員のICT活用指導力を開発しようとの目的で作成したもので、インタラクティブスタディを用いてより良い指導をするためのノウハウが凝縮されています。多くの方には知っていただけるようICT活用教育推進室の五十嵐俊子室長のご快諾を得て、ECONewsに掲載させていただきました。(引用: <http://www.hino-tky.ed.jp/ict-edu/>)

Q1 インタラクティブスタディとは？

一人ひとりの理解度に応じて、PCで進める教材です。子どもたちに確実な学力をつけるための教材が用意されていて、自分のペースで学習が進められます。児童は、問題を解いていき、苦手分野については、その苦手をなくすように組まれたコースに進んで学習ができます。授業中教師は、教師用PCで児童の学習進行状況を把握することができます。学習につまずいている子どもをいち早く発見し、ピンポイントで支援を行うことができます。一人一人の子どもの学習記録が残されるので、後でいろいろ活用できます。

“みんなでスタディ”とは・・・教師があらかじめ選択した教材を、児童が一斉に学習するモードです。学習記録が保存され、授業中にも授業後にも評価情報を参照できます。

“つづきをスタディ”とは・・・「みんなでスタディ」の続きから学習を再開できるモードです。学習記録が保存され、授業中にも授業後にも評価情報を参照できます。

“ひとりでスタディ”とは・・・児童が自分で教材を選択して学習するモードです。“みんなでスタディ”の教材が早く終わった児童におすすめです。ただし、学習の記録は保存されず、教師が評価情報を見ることはできません。

Q2 インタラクティブスタディを使うとどんなメリットがありますか？(効果)

・〇つけとアドバイスと記録をとってくれる「小先生」が児童全員についているような授業のイメージです。

→一斉授業と違い自分のペースで問題を進めることができます。

→一問ずつ、答えの正否が判定され、その内容によって必要な手だてがとられるようにできています。

・児童にとっては

“〇をつけてもらうのに待たなくていい。”

“同じまちがいを続けず、正しいやりかたで進められる。”

などのメリットがあります。

・教師にとっては、子ども一人一人の詳しいノートが全て残されているようなもので、いろいろな活用の仕方があります。(参照: Q9、11)

Q3 どんな教材がありますか？

日野市では、三種類のインタラクティブスタディ用の教材が使えます。(本ECONewsでは教材名は省略)

・スタディ21は、算数の3年～6年までの算数教材があります。(一つの教材は、およそ45分授業×2コマが目安です。)

・スーパーインタラクティブスクールには、国語・理科・算数・社会の教材があります。

国語・算数は1年～6年まで、理科・社会は4年～6年生までの教材が入っています。(短時間でできる内容です)

・ECOには、1年～6年までの算数教材があります。(短時間でできる内容です)

Q4 日野市には、自作教材はありますか？

・平成18年度に開発を始め、これまで2年間にわたって「数学的な考える力を伸ばす教材」を目指した算数の教材開発を行ってきました。

文章問題では、図で表したり、テープを利用したりして、文章問題を解く力を伸ばすための工夫をしました。また、児童がどのような間違い方をするのかを分析し、誤答後のヒントや、アドバイスの仕方も工夫しました。教材の作成には、スタディライターというソフトを使っています。

・「ひのっ子教育21教材開発委員会」の委員が開発した教材は以下の通りです。

1年 「たしざんとひきざん」

2年 「たし算とひき算」、「ひき算のひっ算」

3年 「わり算」

4年 「角の大きさ」

- 5年 「百分率とグラフ」、「計算のきまり」
6年 「単位量あたりの大きさ」

Q5 単元の中での活用法は？

- ・教材開発者は、その教材がどのように使われるかを想定して教材を作っています。
- ・具体的には、「導入での提示用」、「展開段階での個別学習用」、「まとめの段階でのたしかめ、ドリル的学習用」等です。
- ・先生機のインタラクティブスタディ(先生用)の「学習の設定」の画面の「プレビュー」ボタンを押すと、教材の内容を見ることができます。事前によく検討してご活用ください。(「スタディサーバ for Web」の「ユーザーマニュアル」p 80～参照)
- ・想定以外でも、たとえば、「1学年下のまとめの教材」を単元の導入前に「復習・確かめ」として使うなどの活用法もあります。

Q6 前日までになどどのような準備が必要ですか？

＜主な事前の準備＞

- ① ログインパスワード(スタディパスポート)を、児童に配布できるようにしておきましょう。授業当日スムーズになります。

なお、パスワードが分からなくなってしまった子どものために、学校にはパスワードの台帳があります。

- ② 指導者用のインタラクティブスタディを起動し、どの教材を何年何組が学習するのかを設定します。この時に教師のログイン名とパスワードが必要になります。

なお、少人数指導などの場合には、そのためのクラス編成を事前に準備しておきます。

- ③ 教材をプレビューなどを使って事前に見て、内容を把握しておきましょう。実際に子どもになったつもりで取り組んでみるとよいです。

活用に慣れてきたら、該当学年の教材を全て「続きをスタディ」にあらかじめ入れておいて、「学習できません」の設定にしておき、必要に応じて一括設定で「みんなでスタディ」にかえたり、「学習再開」にして児童が使えるようにする等の上手な設定の仕方などもあります。

Q7 授業をどのように進めますか？

＜コンピュータ室に入ってすぐやること＞

- ・スタディパスポートを持参または、配布。(児童が覚えていれば不要)
- ・必ずノート、筆記用具を持参。
- ・入室後、パソコンを起動して個々にログイン。
- ・ノートを使用できるように机上也準備。

＜スタート＞(習慣づくまでは、必ず伝えます。)

- ①「競争ではない。」ことを伝える。
- ②「友だちとの教え合いはOK!」と奨励する。「ただし、答えは教えてはいけません。」
- ③「大切なことはノートに書きましょう。」(消しゴムはPC室では使わない。まちがえたら、線で消すなど。)

＜終わり＞

- ・終了3～5分前に声をかけ、きりがよく終われるようにする。
- ・インタラクティブスタディの画面を閉じる。

【注意】

学習内容や進み方は一人一人異なる個別学習なので『学習内容についてのクラス一斉のまとめ』はしない。

例えば「今日、自分はどんなことを学習してどんなことがわかったか、どんな間違いに気づいたかなど、自分で整理しましょう。終わります。」などとする。

Q8 授業中、先生はどのような場面で個別指導をしますか？

コンピュータは子どもが入力したとおりにしか動きません。

コンピュータには出来ない臨機応変な対応をすることが先生の仕事です。

- ・教師用画面を見て、理解状況を把握しましょう。
- ・教師が事前に考え、計画的に個別指導を行いましょう。
- ・「先生。」と手を挙げて呼ぶ子のところに行きましょう。
- ・“先生を呼びなさい”の画面になっている子どものところに行きましょう。
- ・学習のスタートに時間がかかっている子のところに行き、支援しましょう。
- ・予定していた教材が終了した子どもに対応しましょう。
- ・子ども一人一人の学習が成立しているかに注目して巡視しましょう。
- ・子どもたちのつぶやきを拾いましょう。
- ・声を掛けながら、子ども一人一人の学習の様子を見に行きましょう。

紙面の都合で以下は省略します。実際のWebサイトを御覧ください。

Q9 データの見方は？

Q10 こんなときはどうするの？(トラブル対応)

Q11 理解状態の表示はどう生かすの？

Super Interactive School 「応用コース」をご紹介します！

進学会システムのSuper Interactive School 中学校版応用コース社会・地理シリーズより「地名・形を覚えよう」の教材をご紹介します。

(進学会システムホームページ <http://www.shingakukai.co.jp/soft/>)

■都道府県名を答える問題

日本地図上で示された都道府県の名前を答える問題を次々と出題します(画面1)。始める前に問題数を設定することができるので、生徒の時間やレベルに合わせて学習することが可能です。上級レベルとして、都道府県庁所在地を答える問題や、都道府県の形から名前を答える問題もあります。

問題 次の都道府県の名前を答えなさい。



13 問正解 / 14 都道府県

←画面1 都道府県名を答える問題

■国名を答える問題

世界地図上で示された国(地域)の名前を答える問

問題 次の国(地域)の名前を答えなさい。



5 問正解 / 6 世界の国々

題を出題します(画面2)。始める前に問題数や出題地域を設定することができるので、「ヨーロッパ」や「東アジア」など、地域を絞った細かな練習をすることも可能です。

↓画面3 都道府県の特徴を調べる教材

北海道のあらまし

面 積	7万8416 km ²
人 口	568万 人
庁所在地	札幌 市
主な都市	旭川 市 函館 市

(2001年)

確かめ終えたら、右のボタンをクリックしよう



次へ進む

↑画面2 国名を答える問題

■同シリーズの教材と連動

中学校版応用コース社会・地理シリーズには、都道府県ごと・国ごとの特徴を調べることができる教材が含まれています(画面3)。本教材と併せて使用することで、より高い学習効果を得ることができます。

【編集後記】ご紹介した「インタラクティブスタディQ&A」の中で、最大の力作は「教師用画面に提示された情報を指導にどのように生かすか」なのですが、情報の性質上Webでは紹介できないのが残念です。(東原)

発行人: 21世紀教育研究所

Educational Research Institute for the 21st Century

代表 中山和彦

〒305-0045

茨城県つくば市梅園2-33-6

電話 029-850-3321

FAX 029-850-3330

Email econews@eri21.or.jp

URL <http://www.eri21.or.jp>